

4月例会メインアワー「働き方改革でベビーファーストな社会へ」事業報告並びに収支決算(案)承認の件

審議

● ファイル名	: 302-02-F	● : 会議体・委員会・局名	: 地域子育て連携委員会
● 事業名	: 4月例会メインアワー	● : 議長・委員長・局長名	: 田所 伸吾
● 職務分掌	: 302-02	● : 文書作成者役職・氏名	: 副委員長 高山 桂
● グループ名	: 革新グループ	● : 確認日	: 2023年6月1日
● 担当副理事長・専務理事	: 浅野 龍昇		
● 担当常任理事	: 星山 剛		
● 議案上程日	: 2023年6月1日		

事業要項(報告)

1.目指す社会・組織の姿	子育て支援に取り組む地域や企業、団体と連携し、ベビーファースト運動を推進することで、子どもを生き育てやすい宮崎の実現を目指します。																																																																							
2.実施に至る背景	多様な人材を受け入れ、その能力を発揮させることが求められる社会の中で、令和3年度県民意識調査によると、子育てに関して不安や負担を感じると回答した割合が30.3%、社会全体で男性の方が優遇されていると回答した割合が55.5%となっておりました。その原因は、地域コミュニティ内における子育ての連携ができていないこと、及び男性の育児参画が進んでいないことだと考えました。ベビーファースト運動を推進することで、子供を生き育てやすい宮崎にしていく必要がありました。																																																																							
3.目的	対内・対外双方へ向けてベビーファースト運動を周知し、運動の趣旨を啓発することでベビーファースト運動への賛同者・参画者を増加させ、子供を生き育てやすい宮崎をつくることを目的としました。																																																																							
4.連携した外部／内部 パートナー種別	宮崎県、宮崎市(子育て支援課)、公益社団法人日本青年会議所、公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会、一般社団法人延岡青年会議所、株式会社宮崎放送、特定非営利活動法人みやざき男女共同参画推進機構、みやざき子ども未来ネットワーク、みやざきSDGsプラットフォーム、みやざき女性の活躍推進会議、みやざき子ども文化センター、フードバンクみやざき、NPO法人ファザリング・ジャパン																																																																							
5.NEXT5	1.	誰も取り残されない地域の実現																																																																						
	1-2	相対的貧困の改善																																																																						
	1-3	多様性を尊重した教育の推進																																																																						
	1-6	ニューノーマルへの適応																																																																						
	2.	労働生産性を向上させる地域の実現																																																																						
	2-8	企業・学校・団体との連携																																																																						
	3.	持続可能で安全な地域の実現																																																																						
	3-8	環境経営の確立																																																																						
6.実施日と実施前後の スケジュール(結果)	<p>■実施日 2023年4月8日(土)</p> <p>■実施日のタイムテーブル ※下段は実際の時間(メインアワーのみ記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>所要</th> <th>差異</th> <th>内容</th> <th>担当・登壇者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">リハ</td> <td>9時00分</td> <td>15分</td> <td>委員会集合・ミーティング</td> <td rowspan="4">地域子育て連携委員会</td> </tr> <tr> <td>9時15分</td> <td>15分</td> <td>リハーサル設営</td> </tr> <tr> <td>9時30分</td> <td>90分</td> <td>メインアワーリハーサル</td> </tr> <tr> <td>11時00分</td> <td>60分</td> <td>例会リハーサル</td> <td>総務委員会</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">休</td> <td>12時00分</td> <td>45分</td> <td>昼食休憩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12時45分</td> <td>15分</td> <td>受付準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">受付</td> <td>13時00分</td> <td>30分</td> <td>受付開始・開場</td> <td>総務委員会 ITイノベーション委員会</td> </tr> <tr> <td>13時30分</td> <td>5分 (4分)</td> <td>▲1 開会・主催者挨拶</td> <td>一般社団法人宮崎青年会議所 理事長 川越 大輔 君</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第一部</td> <td>13時35分 (13時34分)</td> <td>5分 (3分)</td> <td>▲2 趣旨説明・講師紹介</td> <td>地域子育て連携委員会 委員長 田所 伸吾 君</td> </tr> <tr> <td>13時40分 (13時37分)</td> <td>50分 (67分)</td> <td>+17 基調講演</td> <td>NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏</td> </tr> <tr> <td>14時30分 (14時44分)</td> <td>10分 (10分)</td> <td>— 休憩・転換</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第二部</td> <td>14時40分 (14時54分)</td> <td>2分 (1分)</td> <td>▲1 再開・ワールドテラス告知</td> <td>国際コネクト委員会</td> </tr> <tr> <td>14時42分 (14時55分)</td> <td>10分 (6分)</td> <td>▲4 委員会発表(進捗報告)</td> <td>地域子育て連携委員会 副委員長 高山 桂 君</td> </tr> <tr> <td>14時52分 (15時01分)</td> <td>3分 (1分)</td> <td>▲2 パネリスト紹介</td> <td>司会</td> </tr> <tr> <td>14時55分 (15時02分)</td> <td>40分 (41分)</td> <td>+1 パネルディスカッション</td> <td>・パネリスト NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏 みやざき女性の活躍推進会議</td> </tr> </tbody> </table>				時間	所要	差異	内容	担当・登壇者	リハ	9時00分	15分	委員会集合・ミーティング	地域子育て連携委員会	9時15分	15分	リハーサル設営	9時30分	90分	メインアワーリハーサル	11時00分	60分	例会リハーサル	総務委員会	休	12時00分	45分	昼食休憩		12時45分	15分	受付準備		受付	13時00分	30分	受付開始・開場	総務委員会 ITイノベーション委員会	13時30分	5分 (4分)	▲1 開会・主催者挨拶	一般社団法人宮崎青年会議所 理事長 川越 大輔 君	第一部	13時35分 (13時34分)	5分 (3分)	▲2 趣旨説明・講師紹介	地域子育て連携委員会 委員長 田所 伸吾 君	13時40分 (13時37分)	50分 (67分)	+17 基調講演	NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏	14時30分 (14時44分)	10分 (10分)	— 休憩・転換		第二部	14時40分 (14時54分)	2分 (1分)	▲1 再開・ワールドテラス告知	国際コネクト委員会	14時42分 (14時55分)	10分 (6分)	▲4 委員会発表(進捗報告)	地域子育て連携委員会 副委員長 高山 桂 君	14時52分 (15時01分)	3分 (1分)	▲2 パネリスト紹介	司会	14時55分 (15時02分)	40分 (41分)	+1 パネルディスカッション	・パネリスト NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏 みやざき女性の活躍推進会議
時間	所要	差異	内容	担当・登壇者																																																																				
リハ	9時00分	15分	委員会集合・ミーティング	地域子育て連携委員会																																																																				
	9時15分	15分	リハーサル設営																																																																					
	9時30分	90分	メインアワーリハーサル																																																																					
	11時00分	60分	例会リハーサル		総務委員会																																																																			
休	12時00分	45分	昼食休憩																																																																					
	12時45分	15分	受付準備																																																																					
受付	13時00分	30分	受付開始・開場	総務委員会 ITイノベーション委員会																																																																				
	13時30分	5分 (4分)	▲1 開会・主催者挨拶	一般社団法人宮崎青年会議所 理事長 川越 大輔 君																																																																				
第一部	13時35分 (13時34分)	5分 (3分)	▲2 趣旨説明・講師紹介	地域子育て連携委員会 委員長 田所 伸吾 君																																																																				
	13時40分 (13時37分)	50分 (67分)	+17 基調講演	NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏																																																																				
	14時30分 (14時44分)	10分 (10分)	— 休憩・転換																																																																					
第二部	14時40分 (14時54分)	2分 (1分)	▲1 再開・ワールドテラス告知	国際コネクト委員会																																																																				
	14時42分 (14時55分)	10分 (6分)	▲4 委員会発表(進捗報告)	地域子育て連携委員会 副委員長 高山 桂 君																																																																				
	14時52分 (15時01分)	3分 (1分)	▲2 パネリスト紹介	司会																																																																				
	14時55分 (15時02分)	40分 (41分)	+1 パネルディスカッション	・パネリスト NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏 みやざき女性の活躍推進会議																																																																				

					代表 加納 ひろみ 氏 一般社団法人宮崎青年会議所 理事長 川越 大輔 君 ・コーディネーター 地域子育て連携委員会 副委員長 竹原 沙織 君
	15時35分 (15時43分)	5分 (4分)	▲1	謝辞・閉会	一般社団法人宮崎青年会議所 副理事長 浅野 龍昇 君
転換	15時40分 (15時47分)	10分	—	アンケート回収・休憩・転換	
例会	15時50分	25分	—	4月例会(開会～出席率発表)	総務委員会
	16時15分	10分	—	新入会員仮入会式	人財拡大委員会
	16時25分	5分	—	4月例会(監事講評～閉会)	総務委員会
撤収	16時30分	30分	—	片付け・撤収	

■実施前後のスケジュール

いつ	どこで	なにを
2022年10月	各所	・自治体、他団体等からのヒアリング 宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)
11月	各所	・事業構築
12月	各所	・事業構築
2023年1月	各所	・LP、ポスター、宣言企業募集資料作成
2月	各所	・LP公開 ・ベビーファースト宣言企業の募集(SNS、委員会訪問) ・基調講演 講師打合せ(2月2日)
3月	各所	・ベビーファースト宣言企業の募集(SNS、委員会訪問) ・メインアワー実施準備(備品発注、広報等) ・パネルディスカッション パネリスト打合せ(3月27日)
4月	各所 宮日ホール	・メインアワー実施準備(備品発注、広報等) ・ベビーファースト宣言企業の募集(SNS、委員会訪問) ・講師打合せ(4月7日) ・4月例会メインアワー実施(4月8日) ・事業検証

7.実施場所(結果)

宮日会館 宮日ホール(宮崎市高千穂通1丁目1-33)

8.事業内容(結果報告)

■具体的手法

【4月例会メインアワー】

(1) 推進事業における位置付け

ベビーファースト運動の推進状況の報告及びさらなる拡大のため、成果発表やパネルディスカッション、セミナーを実施し、事業推進につなげることを目的としました。

《参考資料》 [ベビーファーストみやざき](#)

(2) 日時・場所

2023年4月8日(土) 13時30分～16時30分

宮日会館 宮日ホール

《参考資料》 [会場選定理由](#)

《参考資料》 [会場レイアウト\(全体\)](#)

《参考資料》 [会場レイアウト\(壇上\)](#)

《参考資料》 [懸垂幕デザイン](#)

《参考資料》 [懸垂幕設置図](#)

《参考資料》 [ふんどしデザイン](#)

《参考資料》 [備品リスト](#)

(3) 実施内容

《参考資料》 [次第](#)

《参考資料》 [全体シナリオ](#)

《参考資料》 [当日パワーポイント](#)

① 趣旨説明・講師紹介

開催趣旨として、ベビーファースト運動の概要説明と講師の紹介を行いました。

担当: 地域子育て連携委員会 委員長 田所 伸吾 君

② 基調講演

「ベビーファーストが企業も社会も変える ～子育てへの参画はボウリングの一番ピン～」

ベビーファースト運動を啓発することのできる講師によるセミナーを実施しました。

講師: NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏

《参考資料》 [安藤哲也氏プロフィール](#)

《参考資料》 [講師選定理由書\(安藤氏\)](#)

《参考資料》 [講師依頼承諾書\(安藤氏\)](#)

③ 推進事業進捗状況報告

・ベビーファースト運動の全国における展開状況
 ・当LOMIにおけるベビーファースト宣言企業の募集状況
 についての報告を行いました。
 担当: 地域子育て連携委員会 副委員長 高山 桂 君

④ パネルディスカッション

「子どもを産み・育てやすい社会の実現のために企業ができることは何か」
 宮崎においてベビーファースト運動をさらに推進するための課題等について、パネルディスカッションを行いました。

コーディネーター: 地域子育て連携委員会 副委員長 竹原 沙織 君

パネリスト:

NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 安藤 哲也 氏

みやざき女性の活躍推進会議 代表 加納 ひろみ 氏

《参考資料》 [みやざき女性の活躍推進会議](#)

《参考資料》 [講師選定理由書\(加納氏\)](#)

《参考資料》 [講師依頼承諾書\(加納氏\)](#)

一般社団法人宮崎青年会議所 理事長 川越 大輔 君

《参考資料》 [講師選定理由書\(川越大輔君\)](#)

(4) 実施組織体系・当日担当

役職	氏名	担当
担当副理事長	浅野 龍昇	事業アドバイザー
担当常任理事	星山 剛	メディア対応
委員長	田所 伸吾	事業総括 趣旨説明・講師紹介担当 会場準備、講師・パネリストアテンド、スライド 操作、タイムキーパー
副委員長	高山 桂	委員会発表担当 会場準備、タイムキーパー
副委員長	竹原 沙織	パネルディスカッションコーディネーター 会場準備、講師・パネリストアテンド
運営幹事	上村 光太郎	司会 会場準備
委員	岩見 彰憲	会場準備、会場案内(宮日会館1階)、転換
委員	関谷 祐作	会場準備、転換
	ITイノベーション委員会	対外受付
	総務委員会	会場準備、対内受付

【託児】

NPO法人みやざき子ども文化センターに委託し、託児のために保育士を派遣してもらいました。事前申込を募り、延べ7名(0歳2名、1歳3名、4歳1名、7歳1名)の申込がありました。これに対し、保育士は延べ7名(終日1名、午前中のみ1名、13時～15時のみ3名、15時～17時のみ1名)の派遣がありました。

利用の際には託児保険を掛けることが必須であるため、当日急遽連れて行って預けることができないという留意点があります。事前申込制であることは告知していましたが、当日メンバーより急遽預けることができないかという話があったため、次回以降はさらなる周知が必要であると思われる。もっとも、事前に預けるか預けないかの予定が分からない場合も多いため、その他の団体を利用しての託児も検討すべきだと思われます。

■事業目的に達した点:

- ・父親の育児参画や働き方改革の運動に実績のある講師から基調講演をしていただいたことや、パネルディスカッションを理事長も踏まえて行ったことで、メンバーやメンバーの家族に向けてベビーファースト運動の趣旨を啓発することができました。
- ・メンバーアンケートの結果、「ベビーファースト運動について理解できた」という回答を97%以上、「自社もベビーファースト運動に参画したい(あるいは参画済みである)」という回答を91%以上得ることができ、対内における理解者・賛同者の増加という結果を得ることができました。
- ・4月例会メインアワーの開催に向けて、メンバーへのベビーファースト宣言の働きかけを強化した結果、20件以上の宣言企業を獲得することができました。
- ・対外参加者の数は下記のとおり少なかったものの、参加していただいた方のアンケートの結果では、ベビーファースト運動について「理解した」「やや理解した」という回答が合計100%となっており、ベビーファースト運動への理解者・賛同者の増加という結果を得ることができました。

■事業目的に達しなかった点:

- ・メンバーの家族・従業員を除く純粋な対外参加者は9名であり、ベビーファースト運動の対外への周知啓発は不十分となりました。「12.広報戦略」記載のとおり、自治体や関係団体へ幅広く案内を行いました。年度初めであることや、事業日程決定後に県議会議員選挙(4/9)、市議会議員選挙(4/23)が開催されることが決まり事業が選挙直前となってしまったことから、特に自治体からの参加はゼロでした(なお、市職員からは明確に選挙を理由として断られています)。

9.成果目標

KPI	1)(対内)「自社もベビーファースト運動に参画したい」もしくは「参画済みである」とのアンケート回答90%以上。
	2)(対外) 対外参加者100名。
	3)(対外) ベビーファースト運動について理解したとのアンケート回答90%以上。

10.成果目標の検証結果

1)(対内)「自社もベビーファースト運動に参画したい」もしくは「参画済みである」とのアンケート回答90%以上。

【対内アンケート結果】

《参考資料》 [アンケート\(対内\)](#)
 《参考資料》 [アンケート結果\(対内\)](#)

アンケート回収数: 46
 アンケート回収率: 77%(46/60(メンバー出席数))

「自社もベビーファースト運動に参画したいと思いませんか。」

・既に参画済みである 26.1%
 ・参画したい 67.4%
 ・参画したくない 2.2%
 ・その他 4.4%

⇒「既に参画済みである」「参画したい」との回答が合計93.5%となり、KPIを達成しました。

2)(対外) 対外参加者100名。

メンバー家族23名、メンバー従業員1名、一般参加者9名(うち2名はMRT、1名は延岡青年会議所からのオブザーブ)の合計33名となり、KPIは達成できませんでした。

■KPI未達成についての検討

対外参加者が少なかった原因として考えられることは、次のとおりです。

・日程の設定が不適切であった

⇒今回の内容に興味関心を持ってもらえるであろう自治体関係者や関係団体へ幅広く案内を行いました。年度初めであることや選挙直前となってしまったことから、集客することができませんでした。また、企業からは、平日に開催してもらわないと土日は休日出勤となってしまうため参加が難しいとの声が聞かれました。

・家族参加型としたが、内容が家族向けではなかった

⇒家族参加型例会として理事長動画も撮影し呼びかけを行いました。内容が子ども向けではないこともあり、家族の興味関心を引きづらかったものと思われます。家族、特に子どもを呼びたい場合には、内容を子どもにも興味を持ってもらえるものにするか、それが難しい場合には子どもが時間を過ごしてもらえるような工夫(子ども用のブースを設ける等)を考える必要があります。メンバーとしても、子ども向けでない場合は家族に参加を呼びかけにくい面があると思われます。

・ネット広報が不足していた

⇒詳細は「12.広報戦略」に記載しましたが、有料広告の期間が短かったことでリーチ数が十分に伸びず、興味関心のある一般層に届かなかったことが考えられます。

3)(対外) ベビーファースト運動について理解したとのアンケート回答90%以上。

【対外アンケート結果】

《参考資料》 [アンケート\(対外\)](#)
 《参考資料》 [アンケート結果\(対外\)](#)

アンケート回収数: 10

「青年会議所が取り組む『ベビーファースト運動』について」ご理解いただけましたか。

・理解した 70%
 ・やや理解した 30%
 ・どちらでもない 0%
 ・やや理解できない 0%
 ・理解できない 0%

⇒「理解した」「やや理解した」との回答が合計100%となり、KPIを達成しました。

11.対象者及び参加員数(結果)

(対内)宮崎青年会議所メンバー: 60名、新入会員19名

(対外)宮崎青年会議所メンバー家族: 23名、メンバー従業員: 1名、一般参加者: 9名(市議会議員候補者、子ども食堂運営者、ATOMica、宮崎県男女共同参画センター、個人、MRT、延岡青年会議所)

12.広報戦略

01

[広報審査シート](#)

⇒3/23にfacebook投稿を行い、3/27に有料広告を行いました。

《参考資料》 [有料広告結果\(3/27~4/6\)](#)

《参考資料》 [有料広告結果\(4/5~4/8\)](#)

①3/27~4/6 有料広告 結果

投稿のエンゲージメント 441
 リンククリック 11
 リーチ 12,400

上記のリーチの内訳によると35歳以上の年代に多く届けられていたため、より若年層をターゲットとすべく、4/5より、Instagramにのみ表示されるように設定を行いました。

②4/5~4/8 有料広告 結果

リンククリック 165
 リーチ 16,984

Instagramにのみ表示されるようしたところ、25歳~34歳の年代に最も多く届けられるようになりました。また、リーチ数とリンククリック数がfacebookへの広告よりも増加しました。

■広報KPI未達成についての検討

ネット広報としては上記のとおりfacebook、Instagramを行いました。

	<p>KPIとしてfacebook 100,000リーチ、Instagram 100,000リーチを設定しておりましたが、上記結果のとおり、リーチ数はいずれも届きませんでした。リーチ数が届かなかった要因としては、有料広告を行った期間が短かったことが挙げられます。特にInstagramに関しては、4日間で 16,984リーチ との数値が出ているため、2週間程度行っていれば 100,000リーチに届いた可能性はあります。リーチ数自体が目標ではないものの、ある程度の数値が出なければ集客にはつながらないため、費用対効果の観点も考慮しながら、有料広告の期間を伸ばす等の対応を検討する必要があります。</p>
02	<p>関係団体への案内文・チラシ配布(案内文・チラシ) 配布先リスト ⇒データ配布の予定としていましたが、可能な限り各団体の窓口を訪問し、事業趣旨の説明と案内文・チラシ(及びデータ)の手渡しを行いました。</p>
03	<p>プレスリリース(プレスリリース) ⇒県政記者室に投げ込みを行いました。もっとも、選挙前であったため取材申込は1社もありませんでした。メンバーのMRT社員に直接取材を依頼したところ、当日はMRTに取材に来ていただき、夕方のニュースで取り上げていただきました。</p>
04	<p>例会登壇、委員会訪問、理事長動画発信 ⇒対内参加率の向上と、例会・メインアワーへの家族同伴を推奨するために、例会登壇、委員会訪問に加え、理事長動画(子どもと一緒に家族同伴参加を呼びかける内容)を撮影し、グループLINEにて共有しました。</p>
13.次年度への提言	<p>《参考資料》 次年度への引継事項</p> <p>【運動面】</p> <p>① 講師の選定 講演内容と事業目的を一致させられるか、講師依頼を行う前に確認すべきです。著書やインターネット上のインタビュー等がある場合には最低限確認しておき、可能であれば実際に講演を聴くようにしましょう。</p> <p>② 講演の事前準備 講演資料について、事前打合せの段階ではパワーポイントのみで配布資料は無いという話でしたが、直前に紙媒体での資料配布要請があったため、前日深夜まで印刷することとなりました。当日配布資料や機器操作方法については、事前打合せ時の確認以降も複数回確認すべきです。</p> <p>③ 集客 日程的な問題もあり、外部集客に非常に苦戦しました。企業を対象とするのであれば、土日は休日出勤となってしまうため、平日に開催した方がよいと思われれます。また、4月は年度初めの時期であるため、自治体や公共団体は忙しいとのことでした。なお、今回は選挙と重なってしまいましたが、メインアワーの日程を決定する時期との兼ね合いの上、やむを得ないものと言えます。また、メンバーの出席率向上にも苦戦しました。今回のように一見対象を選ぶテーマの場合には、メンバー全員に関わる問題であることを丁寧に周知しなければ出席率が向上しないと言えます。事前告知の中では難しい面もありますが、例会登壇や委員会訪問の時間を利用して、テーマがメンバー全員に関わること、出席して学ぶことによるメリットを伝えていくべきです。</p> <p>④ 家族同伴型例会 家族参加型例会として呼びかけましたが、内容が子ども向けではないという声がありました。家族、特に子どもを呼びたい場合には、内容を子どもにも興味を持ってもらえるものにするか、それが難しい場合には子どもが時間を過ごしてもらえるような工夫(子ども用のブースを設ける等)を考える必要があります。メンバーとしても、子ども向けでない場合は家族に参加を呼びかけにくい面があると思われれます。</p> <p>【運営面】</p> <p>⑤ タイムキープ 基調講演が15分以上時間オーバーしてしまい、その後の進行に響きました。5分オーバーの時点でタイムキーパーより合図を出し、壇上の講師には伝わっていましたが、そこから10分以上オーバーし、15分オーバーの時点でもう一度合図を出してようやく終了しました。後の予定次第でもありますが、今回のように後のプログラムが控えている場合には、多少強引にでも終わらせた方がよいかもしれません。時間がオーバーしてしまうと、プログラムの進行以外にも、託児の保育士が延長となる、時間がなくアンケートがとれなくなる等他方面に影響を与えてしまいます。</p> <p>⑥ 運営の人員 委員会メンバーの出席がやむを得ない事情による欠席者もいたため6名と少なく、うち4名は出演者も兼ねていたため、人員がギリギリでした。受付を他委員会に頼み、委員長が様々な仕事を兼ねることで何とか回りましたが、本来であれば委員長は統括的な立場でいつでも動けるようにしておくべきです。事業の時期やメンバーの事情との兼ね合いにもよりますが、例えば同一グループ内の事業では他委員会のメンバーも原則運営側として役割を振る、グループを越えて役割を振ることを検討する等の対策を検討すべきと思われれます。</p> <p>⑦ 質疑応答 メインアワーを通じて片親世帯へのフォローが無かったため、片親世帯のメンバーが不安感を抱いていたという声がありました。片親世帯に限らず、メンバーをはじめとして参加者には様々な属性の人がいることを踏まえ、質疑応答の時間や質問への回答を後日頂く方法を設けるという工夫を行うべきです。</p> <p>⑧ 設営・リハーサル 設営・リハーサルに想定よりも時間がかかってしまい、終了したのが開場直前でした。日程や会場の都合との兼ね合いもありますが、前日までに済ませておけないかの確認を複数人で行</p>

	っておく等して、当日の時間に余裕を持てるようにしておくべきです。
14. 前回の上程よりブラッシュアップした点	財政規則審査会議及び監事会の意見を踏まえ、修正を加えました。

15.	決算総額 (事業決算総額)	¥169,180- (¥275,170-)	事業報告収支決算書へ (会場費・レンタル料、保育料、保育士弁当・お茶)
16. 審議対象資料	17. 参考資料		
1)	事業報告収支決算書		1) サマリー 年間事業フレーム
			2) 次年度への引継事項
			3) 事業計画書
			4) 宮崎市子育て支援課との打合せ(10月5日)
			5) ベビーファーストみやざき
			6) 会場選定理由
			7) 会場レイアウト(全体)
			8) 会場レイアウト(壇上)
			9) 懸垂幕デザイン
			10) 懸垂幕設置図
			11) ふんどしデザイン
			12) 備品リスト
			13) 次第
			14) 全体シナリオ
			15) 当日パワーポイント
			16) 安藤哲也氏プロフィール
			17) 講師選定理由書(安藤氏)
			18) 講師依頼承諾書(安藤氏)
			19) みやざき女性の活躍推進会議
			20) 講師選定理由書(加納氏)
			21) 講師依頼承諾書(加納氏)
			22) 講師選定理由書(川越大輔君)
			23) アンケート(対内)
			24) アンケート結果(対内)
			25) アンケート(対外)
			26) アンケート結果(対外)
			27) 広報審査シート
			28) 有料広告結果(3/27~4/6)
			29) 有料広告結果(4/5~4/8)
			30) 案内文・チラシ
			31) 配布先リスト
			32) プレスリリース

前回までの流れ(意見と対応)

● 第06回常任理事会

● 開催日 2023年 05月 22日 (月曜日) 協議

意見1: 質問の時間や質疑の回答を後日頂く工夫があってもよかったです。片親世帯へのフォローが例会中ではなかったため片親世帯のメンバーが不安感を抱く結果になってしまった印象がありました。

対応1: 次年度への引継事項に記載します。

意見2: 2.実施に至る背景と3.目的は報告ですので文末は過去形に変更お願いします。

対応2: 修正しました。

意見3: 今回は補正予算は組まなくても大丈夫です。

対応3: 承知いたしました。

意見4: 家族同伴型の例会とし、託児所も設けましたが、家族(特に子ども)の参加者をより伸ばすために改善すべき点については検討をお願いします。

対応4: 次年度への引継事項にて検討しました。

● 第06回財政規則審査会議

● 開催日 2023年 05月 29日 (月曜日) 審査

意見1: 「14.前回の上程よりブラッシュアップした点」の本文の文字サイズが小さいため、他と統一をお願いします。

対応1: 修正しました。

意見2: 収支決算書等の差額の記載が誤っていますので、修正をお願いします(予算額より決算額が少なくなったということなので、マイナス記号の▲を付けてください)。

対応2: 修正しました。

● 第06回監事会

● 開催日 2023年 05月 29日 (月曜日) 審査

意見1: 担当副理事長の氏名の間にスペースがありません。

対応1: 修正しました。

意見2: メンバー出席率向上のための具体策について検討をお願いします。

対応2: 検討し、追記しました。

意見3: 事業費と他の支出が混在している領収書について、2枚に分けられないか確認をお願いします。

対応3: 確認し、分けられるものについては再発行をしていただきました。

● 第06回理事会

● 開催日 2023年 06月 06日 (火曜日) 審議

意見1:

対応1:

● 議案上程スケジュール

事業計画・予算				事業報告・決算			
回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
第05回	予定者常任理事会	2022年11月24日	報告	第06回	常任理事会	2023年05月22日	協議
第05回	予定者理事会	2022年12月08日	報告	第06回	財政規則審査会議	2023年05月29日	審査
第01回	常任理事会	2022年12月19日	協議	第06回	監事会	2023年05月29日	審査
第01回	理事会	2023年01月07日	協議	● 第06回	理事会	2023年06月06日	審議
第02回	常任理事会	2023年01月25日	協議				
第02回	財政規則審査会議	2023年01月30日	審査				
第02回	理事会	2023年02月07日	協議				
第03回	常任理事会	2023年02月20日	協議				
第03回	財政規則審査会議	2023年02月27日	審査				
第03回	理事会	2023年03月07日	審議				